

# 藤枝市教育委員会

## 平成26年5月定例会会議録（要約）

1. 開催日 平成26年5月19日
2. 場所 藤枝市役所東館3階 庁議室
3. 会議に附した事項 (別紙のとおり)
4. 出席委員  
委員長 山根 紗智子 委員長職務代理者 下田 實男  
委員 松浦 正秋 委員 大社 幸子  
教育長 山本 満博
5. 欠席委員
6. 出席した事務局職員  
教育部長 村松 一博 教育政策課長 山崎 仁志  
教育推進室長 栗山 淳子 学校教育課長 森下 覚司  
主席指導主事 梶川 佐知子 学校給食課長 山下 貢  
生涯学習課長 片山 豊実 図書課長 成岡 均  
総務係長 横山 茂幸 書記・主任主査 岸本 倫子

# 教育委員会 平成26年5月定例会

日 時 平成26年5月19日午前9時00分

場 所 市役所東館3階 庁議室

1. 開 会 午前9時00分

2. 会議録署名委員氏名 松浦正秋委員、大社幸子委員

3. 日程第1

- ・ 第2号議案 藤枝市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱について
- ・ 第3号議案 藤枝市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
- ・ 第4号議案 藤枝市社会教育委員の委嘱について
- ・ 第5号議案 藤枝市公民館運営審議会委員の委嘱について
- ・ 第6号議案 藤枝市文化財保護審議会委員の委嘱について
- ・ 第7号議案 藤枝市郷土博物館協議会委員の委嘱について

4. 日程第2 諸般の報告

教育推進室長

1. 小中学校連携ドリームプラン事業について

学校教育課長

1. 全国学力・学習状況調査の公表についての考え方について  
1. 藤枝市内児童生徒数について

5. 閉 会 午前9時55分

## 教育委員会 平成26年5月定例会

### 日程第1

- 事務局 【第2号議案 藤枝市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱について 説明】  
任期は2年間  
昨年度末で委員10名が任期満了となったため新たに委嘱
- 事務局 【第3号議案 藤枝市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 説明】  
任期満了となった23名について新たに委嘱  
うち4名は再任
- 事務局 【第4号議案 藤枝市社会教育委員の委嘱について 説明】  
任期満了となった10名について新たに委嘱  
任期は2年間
- 事務局 【第5号議案 藤枝市公民館運営審議会委員の委嘱について 説明】  
6名から退任の申し出があったため、新たに6名を委嘱  
退任の理由は、体調不良 1名、所属団体の役員退任 5名
- 事務局 【第6号議案 藤枝市文化財保護審議会委員の委嘱について 説明】  
任期満了となった8名について新たに委嘱
- 事務局 【第7号議案 藤枝市郷土博物館協議会委員の委嘱について 説明】  
1名から退任の申し出があったため、新たに委嘱
- 委員長 これより質疑に入ります。質疑はありませんか。
- 委員 委員名簿の6番目に「さわやかクラブふじえだ連合会」とあるが、どのような団体か。
- 事務局 「さわやかクラブふじえだ連合会」は、老人クラブ連合会が、平成23年に愛称的なものとして、つけた名称です。「老人クラブ」という形のものもあるのですが、今前面に出しているのは「さわやかクラブふじえだ」ということです。
- 委員 通学区域審議会の委員選出には、地域が考慮されて満遍なく配置されているのか、審議会の内容としてそこまで地域を限定しなくてもいいものなのか伺いたい。

事務局 通学区域審議会の委員は、自治会から選んでいただいたり、校長会から選んでいただくというような形で、特に地区は考慮しておりません。

委員長 他にはありますか。

一同 『ありません』

委員長 以上で質疑を終結します。これより討論に入ります。討論はありませんか。

一同 『ありません』

委員長 以上で討論を終結します。これより第2号議案「藤枝市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱について」から第7号議案「藤枝市郷土博物館協議会委員の委嘱について」を採決します。本案は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

一同 『異議なし』

委員長 異議なしと認め、本案は原案のとおり可決されました。

## 日程第2 諸般の報告

委員長 次に日程第2 諸般の報告について順に報告願います。

事務局 1. 小中学校連携ドリームプラン事業について  
平成23年度に開始 本年で4年目  
小1～中3までの各発達段階の子どもたちにとって良い授業になるように、またそれぞれの学校の良さを拡げる授業の充実を図った

事務局 1. 全国学力・学習状況調査の公表についての考え方について  
4 / 2 2 実施、9月結果発表予定

事務局 1. 藤枝市内児童生徒数について  
国の基準日平成26年5月1日により作成  
4 / 7 県基準日と比較して クラス数 変動なし  
児童生徒数 大きな変動はなし

委員長

そのほか報告はございませんか。

事務局

『ありません』

委員長

それではこれより質疑に入ります。質疑はありませんか。

委員

全国学力・学習状況調査について、市として「どのような状況なのか公表していく」とのことですが、どのような状況かというところをもう少し詳しく聞きたい。

2点目は「学校では、調査の結果を県や国と比較して」とあるが、「比較」についてより具体的に説明願いたい。

最後に、県は今年度どのような形をとっていくのか、昨年同様に校長名等を発表するのか、それよりも変わった形をとっていくのか等、わかったら教えて欲しい。

事務局

まず市としてですが、平均点よりも良い悪いという点はもちろんです。たとえば算数でしたら基礎計算力、数学的な考え方を応用したもの、あるいは関数や図形的な見方等の力がどうかということについて市全体で集計し、国の平均点と各設問ごとの正答率と比べて、本市としてはたとえば基礎計算力は十分だけれども、図形的な考え方は若干劣っている。あるいは関数的な見方については十分な力がついているといった分析をして、その点について公表をしていきたいと考えています。

次に、県の動向ですが、昨年度校長名等を発表した事については、県の方針とは少しずれている部分があり、県の中でもそこをどうしていくのかという方針はまだ聞いていません。ただ、昨年度、県で言っていたのは、数字を追い求めたりするのではなくやはり中身を分析して各学校でどのように教えていくか、そのところを重点としてやっていって欲しいという話も昨年ありましたので、今年度もその基本方針は変わらないのではないかと考えています。

委員

大変な取組みをこの1年やってきたわけで、たとえば国語Aが47都道府県の真ん中よりかなり上の方にランクしていたら、県はもうそれでいいという考えで公表しようとはしないのか。

事務局

本市では学力調査について、県が最下位だということについて色々問題があったと考え、たとえば過去の問題を解いてみるといった対応はしました。これは、やはり調査においてどういう状況があるのかという事を知っているのと知らないのではかなり違ってくると思ったからです。ただし、点数をあげるための対策ではないという事を承知していただきたいと思います。

一覧にしての公表は序列化に繋がるというのが一番心配です。学習指導要領で狙っている思考力や判断力や表現力を私たちは子どもたちにつけたいという事で、授業力をアップしようと取り組んでいますので、そういう形でやっていく事が力のアップに繋がればと考えています。

委員

9年間の最後の段階で高校受験を控えているとすると、まさしく数値で序列がつけられる。その現実を踏まえ、自分の立ち位置や学校の立ち位置がどこにあるのかをわかって教育をしていっていただきたいと思う。

ドリームプランのキャリア教育は、まさしく自分がどんな仕事につきたいのかという目標を逆算して行って、では今何をすべきかというのがとても大事だと思う。そういう長いスパンで現状を見ながら先をみるという繰り返しの作業を、先生方や教育委員会にはやっていただければと思う。

委員

本市の公表についての考え方について、私も賛成だ。学校教育の中にいる先生方もこの考え方を理解できると思う。しかし、一般の方々の関心がとても高いので、やはりこういった理由で公表はこういう形にしますという理由をはっきりとみなさんに発信するべきと思う。

それから、学校では4月22日が終わって採点等も独自に行ったと聞いているが、市としてのこの後のスケジュールを伺いたい。

それから、学習状況調査について、昨年度、家庭学習についてのモデル地区を設定して研究していくような事を聞いたが、ドリームプランの中には入っていなかった。別の形で行うのか、ドリームプランの中で家庭教育はたくさん出ているので、そういうものとリンクさせていくのか伺いたい。

事務局

公表の考え方につきましては、保護者のみなさん等に発信していきます。

この後のスケジュールについては、今、早期採点したものがあがってきている最中ですので、それを受けて早急に市全体の傾向をつかんでいきます。

1学期の内にその対策等を考えて9月に文科省から結果は届きますが、それと同時に各学校の方に市としての対策を打ち出していくように考えています。

家庭学習の充実については、藤枝中学校区をモデル地区とし、藤枝中学校、藤枝小学校、藤枝中央小学校、稲葉小学校が学区ですので、対象校の教員と地域の保護者のみなさんが一同に会して、第1回目の会合を持つようになっていきます。基本的には家庭学習におけるパンフレットを作って全市に発信していきたいということと、地域で放課後学習をみていただけるような地域ボランティアのようなものもできれば発足していきたい、というような話し合いになっていくと思っています。

事務局

ドリームプランとしては、各校区で家庭学習あるいは家読あるいは家庭の基本的な生活習慣というふうに入り込む内容になっています。また、藤枝中学校区につきましては、具体的な取組みの一番下のところに学校・家庭・地域が連携した家庭学習の充実という文言が付け加えられており、そうしたものも含んだドリームプランになっています。

事務局

10地区のドリームプラン事業について、学校に行ってこんな夢を持って学校経営をしているというのをご覧いただけるようでしたら、事務局に連絡していただければ連絡しますのでお願いしたいと思います。

委員

平成26年度児童数及び学級編成調査表で、瀬戸谷小学校の2、3年生と朝比奈第一小の3、4年生は複式学級です。これについて、複式学級というのはどういう形で行うのか。一つの教室を半分ずつ分けて行うのか、またはほかの方法があるのか。また、どういう教員をそこへあてるのか。普通の教員ではなかなかできないと思う。そのための指導力が教員には必要ではないかと思う。特別な教員をあてるのか。

事務局

瀬戸谷小学校、朝比奈第一小学校の複式学級については、40人学級ですと複式学級になりますが、実際は県から2つの学年を組み合わせる時に16人以上の場合は複式解消加配という教員が一人つきまして、両校とも複式にはなりません。

なお、他市の複式学級では、やはり一つの教室に担任が一人ということで、力がある教員をもってきています。あとは、市で補助員を付けて、一人がどちらかの学年を見ているときはもう一人は他の学年を見ているというように交互にやるなどしています。

委員長

他に質疑はありませんか。

それでは以上で本日の全日程を終了しましたので5月定例会を閉会いたします。

閉会 午前9時55分